

令和元年度 第3回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会場 令和元年6月20日(木)午後7時00分～9時00分 昭和会館
出席者 谷部議長、中村副議長、佐伯委員、齋藤委員、長瀬委員、稲垣委員、
濱田委員、二ノ宮リム委員、吉村委員
欠席者 松本委員
事務局 伊藤社会教育課長、川崎社会教育係長、来住野社会教育主事

1 開 会

<配付資料>

- 資料1 (一社)全国社会教育委員連合の会費改訂に係る意見聴取について
- 資料2 市民のニーズを活かす・つなげるあきしま会議 ファシリテーションの
コツ 他
- 資料3 令和元年度社会教育関係団体登録数

- ・あきしまの教育 第96号
- ・公民館だより No.192
- ・夏休み これってどうして?江戸の和算に挑む

2 議 題

(1) (一社)全国社会教育委員連合の会費改訂に係る意見聴取について (資料1)

※事務局より、資料1について説明

議長 前回のアンケートで値上げはやむを得ないという回答になったが、今回は具体的にどのような方法でということになる。

委員 令和3年度には関東甲信越静社会教育研究大会東京大会を控えており、予備費から充当はできないと考えると、ブロック活動費を削減して当てるというのが妥当だと思われる。今年度の総会資料を見ると、ブロック活動費の返還金があるようなので、ブロック活動費を工夫して捻出することがよいと思う。

(2) 研修会「市民のニーズを活かす・つなげるあきしま会議」について (資料2)

議長 いろいろな方に声をかけて参加者を募りたい。報告者が少なくなると、1テーブル2つの報告が1つになることも考えられるが、じっくり参加者の話を聞きだしていただきたい。みなさんの中でも報告していただけたらいい方をお願いをしていただきたい。

委員 最後にどんな昭島にしたいかを出し合うことについて、どんなイメージか。活動している方々が目指しているものを聞きたいのか。

事務局 自分の活動を軸として新たな出会いの中から自分たちがどうあったらいいかをもう一段階広く深く捉え直し、ビジョンを参加者の中で共有してもらいたい。少し具体的な言葉で表現できればよいと考えている。

委員 今回、例えば初めて多文化共生の話聞いて、だったらこういうことができるという
ようなアイデアが見えて、共有できるのもいいということかと思う。

※7月21日の集合時間は、12時30分

3 報 告

(1) 令和元年度第2回国内交流事業運営委員会について (6/11)

委員 今年の事業の内容について説明があった。参加者数は、昭島市14名、岩泉町が現在
12名だが2名追加となりそうだとのことだ。内訳は、昭島市は男子10名(5年生8名、
6年生2名)、女子が4名(5年生3名、6年生が1名)、岩泉町は、男子9名(5年生3
名、6年生が6名)女子が3名(5年生が1名、6年生が2名)。引率者の紹介もあった。

委員 この事業は大変貴重な経験ができる機会であるため、引率者等として様々な人が関わ
れるよう、引率者の門戸を広げてはどうか。

(2) 令和元年度社会教育関係団体登録数について (資料3)

※事務局より資料の説明

次回

7月25日(木) 午後7時より 昭和会館1階

8月29日(木) 午後7時より 昭和会館